

日吉津村パブリックコメント募集結果報告書

件名	日吉津村海浜エリア活性化計画（案）のパブリックコメント	
募集期間	2023年 1月 11日 ～ 2023年 2月 10日	
結果	提出者数	2人
	意見数	10件
	提出方法 内訳	・持参 件・郵送 件・ファクシミリ 件 ・電子メール 2件・電子申請 件・その他（ ） 件
意見等の概要と実施機関の考え方		
整理番号	意見等の概要	実施機関の考え方
1-1	海岸管理道の補修・駐車場の確保はぜひモノと考える。	重要な事項として計画書に記載しております。海岸管理道の補修につきましては、海岸管理者の県に要望してまいります。駐車場の確保につきましては、実施段階で詳細な検討を行います。
1-2	テニスコートの利活用について。公園化については賛成だが、構想通りの公園を作るとなるとかなりの面積が必要となる。詰め込みすぎずくつろぎの場となることを心がけることが肝要である。	ご意見を参考にして、実施計画の段階で、村民の憩いの場になるよう、詳細な検討を行います。
1-3	キャンプ場内のトイレについて。管理棟、ゲートボール場ともに、洋式化が必要と考える。	時代の変化とともに、トイレの洋式化は必須と考えております。利便性向上のため、早期に実現できるよう、検討を重ねてまいります。
1-4	海岸スロープについて。この件については、活性化計画が本格化するまでもなく、取り掛かるべきだと考える。	どなたでも海の眺めを楽しんでいただくためには、バリアフリー化が重要だと考えます。早期に実現できるよう、海岸管理者の県に要望してまいります。
1-5	日野川架橋、新たな幹線道路の設置について。生活や物流にも必要な道路であり、実現に向けて取り組んでみたらどうか、と考える。	日野川架橋、新たな幹線道路に位置付けることにより、利便性向上、本村の発展につながると考えます。しかし、広域的な計画となるため、県、米子市など関係機関で連携して進めたいと考えております。
1-6	米子出身の経済学者宇沢弘文氏は、鳥取県西尾知事の「鳥取県全県公園化構想」に大賛成して、実現を勧めた。日吉津村も海浜エリア活性化と狭く局限することなく全県公園化構想の前段として、最も公園化しやすい日吉津村からまず、全県公園化をはじめてみてはどうか。こうなれば自然と海浜エリアの活性化は容易に実現でき、しかも永続性のある、	全県公園化について、海浜エリア内には松林や農地があり、今後も適切な管理保全に努めてまいります。全村についても、日野川をはじめとした豊かな自然環境や農地に恵まれており、適切に管理保全してまいります。

様式第3号（第9条関係）

	<p>かつ次第に高度化する活性化の段階に進んでいくようになると考えるがどうか。</p>	
2-1	<p>利用者の減少について 計画（案）全般を通して、利用者を「村民」と限定していると感じます。村民は知っていても村外の方は施設の存在すら知らない。キャンプ場のように村外へアピールできていれば良かったのかなと考えます。</p>	<p>海浜エリアのなかで、キャンプ場以外は村民の利用が多く見受けられます。村外の方にも積極的に利用していただくために、HPやSNS等を活用し、情報発信を行ってまいります。</p>
2-2	<p>今後の計画について 海浜エリアである以上、海を目玉に集客すべきと考える。しかし山陰地方において海は特段珍しいものではないため、差別化が必要である。一案として高台（展望台）を造り、消波ブロックとそれによって形成されたトンボロ地形を上から眺めることができれば、多少の差別化に繋がるのではないかと。</p>	<p>本村の海岸では遊泳できないなど、海のレジャーが魚釣りなどに限られています。海岸から見える景色など、楽しむことのできる要素は多くあります。ウォーキングやランニング、サイクリングで、海岸管理道を通行する利用者も多く、利用者の安全性や利便性を高めることが重要となります。展望台については、老朽化により撤去しましたが、ニーズがあれば再建を検討します。</p>
2-3	<p>日野川架橋、新たな幹線道路について 日吉津村単体での実現は困難だと思うが、是非実現に向けて進んでいきたい。日吉津村のみならず、皆生も含めた広域的な発展に期待している。吊り橋形式なので相当な建設・維持管理コストがかかるとは思われますが。</p>	<p>日野川架橋、新たな幹線道路に位置付けることにより、利便性向上、本村の発展につながると考えます。しかし、広域的な計画となるため、県、米子市など関係機関で連携して進めたいと考えております。</p>
2-4	<p>全体として 目線を村内だけではなく、村外に向けてることが重要と考えます。村民のみの利用だけでは、結局現在の施設利用以上にはならないと考えます。 もう一点は、この活性化計画案の作成に若年層の意見がどれだけ反映されているかが気になります。意見を吸い上げるのが困難であることは理解できますが、若者の奇抜な発想は海浜エリアのみならず、今後の日吉津村の発展に重要な意味を持つと考えます。 海浜エリアの活性化により、現在宙に浮いている「うなばら荘」の利用計画も好転すると考えます。</p>	<p>施設の利用促進については、さまざまな手段を使用し、本村からも情報発信を行います。施設の利用者からもSNS等で情報発信してもらえよう、呼びかけを行ってまいります。 令和4年6月～7月にかけて村民意見を募集し、子育て世代など多くの方からご意見をいただいております。いただいたご意見は、可能な限り計画書へ盛り込んでおります。また、詳細の実施計画の策定段階では、あらゆる世代からの意見を反映させたいと考えております。 旧うなばら荘の今後の方向性は未定ですが、新たな施設と連携を図り、海浜エリア活性化に寄与することを期待しています。</p>

様式第3号（第9条関係）

素案修正概要		
変更前	変更後	変更理由
—	—	—
問合先 : 実施担当課 : 日吉津村総合政策課 電話番号 : 0859-27-5954 ファクシミリ : 0859-27-0903 電子メール : sougouseisaku@vill.hiezu.lg.jp		